

## 広幹道沿いの看板は 景観に悪影響。至急規制を!!



月田 均



町長

### 屋外広告物を規制する条例を 制定し、対応する



看板通り(看板街道)玉村町になることが心配される広幹道

**質問** 東毛広域幹線道路が完成して下之宮、南玉の道路の端に看板が立ち始めた。このままでは看板通り玉村町になってしまう。玉村町を「麦秋の郷」として売り出そうとしているときに、麦秋の景色が見るに値しなくなってしまう、地域の価値が下がってしまう。至急対応する必要があるが、町の対応を問う。

**答弁** 町長 景観に対する施策は町の魅力を増し、町の発展に寄与するものであり、積極的に進めたい。平成28年度及び29年度2カ年で景観計画策定、その後景観条例制定、屋外広告物規制に着手する予定。また、町の条例ができるまでは、県の条例で規制するよう土木事務所にお願する。また、町も基準外の看板がある場合は通報するなど協力していく。

### 道の駅 玉村宿の評価と 運営状況は

**質問** 道の駅玉村宿に対する指摘事項は多いが、3つの基本機能の「休憩」「情報発信」「地域連携」から見てどう評価するか。また、運営状況、今後の見通しはどうか。

**答弁** 町長 基本3機能はある程度達成し、安定してきている。しかし、充実させるべきことは多い。運営状況は売り上げが下降傾向だが、玉村宿の特徴

### 学期制変更について問う

性を創出できる事業の検討、イベントの実施、広告宣伝、季節限定商品の販売などを展開し、消費拡大を図る。

**質問** 玉村町では2学期制が定着してきたと思うが、その経緯・成果・今後の取り組み等については。

**答弁** 教育長 成果は子どもの学校生活における満足度・意欲が高く、運動でもよい成果が出ている。学力も中学校では全国平均を上回り、問題行動も減少傾向。今後については子どものために何ができるか、何をすべきかを一番に考えた学期制を考えていく必要がある。

## ※5ページ参照 シニアタウン誘致より町内 高齢者への対応を最優先に



柳沢 浩一



町長

### 優先するが、シニアタウン 構想策定も進める

**質問** 町長は大規模なシニアタウンを誘致して、人口の増加を図るといいますが、説明を求め。

**答弁** 町長 私がイメージしているのは、1カ所に集めるのではなく、各地域の中に入っていたら、今いる町民と一緒に生活できるシニアタウンづくりである。それによって、人口を増やし、産業を活性化させていきたい。

**質問** 玉村町はかつて県内でも高齢化率の低いことが自慢でもあったが、今や7800人以上の高齢者があり、町内の皆様が豊かで生きがいを持てる人生とすることが優先課題ではないか。

**答弁** 町長 もちろん、町内の皆様への配慮については言うまでもなく、最優先で取り組んでいくが、今まさにシニアタウン構想については取り組み、研究がスタートしたところであり、事業者をどうするか、町が

主体となるか、民間でも可能なので、さらなる検討を進めたいと思う。

### 町財政の現状と課題は

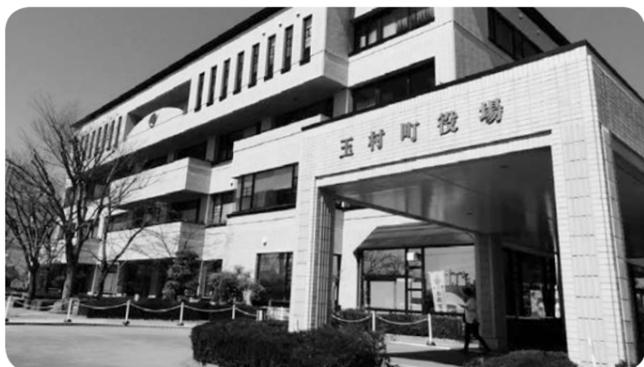
**質問** 町長は「玉村町の経常収支比率(※)は96・8%と極めて高く、このままでは将来財政破綻の恐れがある」と懸念するが、あくまでも指標の一つであり、短絡的過ぎると思うが。

**答弁** 町長 私は事業者としての立場でもあったので敏感な面もあるが、自治体が税収を増やして定着している補助金の削減などに取り組むのは大変難しいことであり、心配している。

### こんな質問もしています

- 合併をどう考えるか
- 玉村内科クリニック存続を求め

(※)「経常収支比率」「財政力指数」「実質公債費比率」とは、地方公共団体が健全な財政運営を行う上で必要となる財政状況を把握するための指標で、ほかの地方公共団体との比較をすることができる。



健全な財政運営が期待される